

## 7－1 北陸・中部地方の地殻変動

### Crustal Movements in the Hokuriku and Chubu Districts

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

#### [水準測量]

第1図は、柏崎市から長岡市に至る水準路線の上下変動である。J3745周辺に長期的な沈下が見られるが、これを除けば、目立った上下変動は見られない。4段目は、2007年7月16日の平成19年（2007年）新潟県中越沖地震（M6.8，最大震度6強）に伴う断層運動に伴う上下変動である。

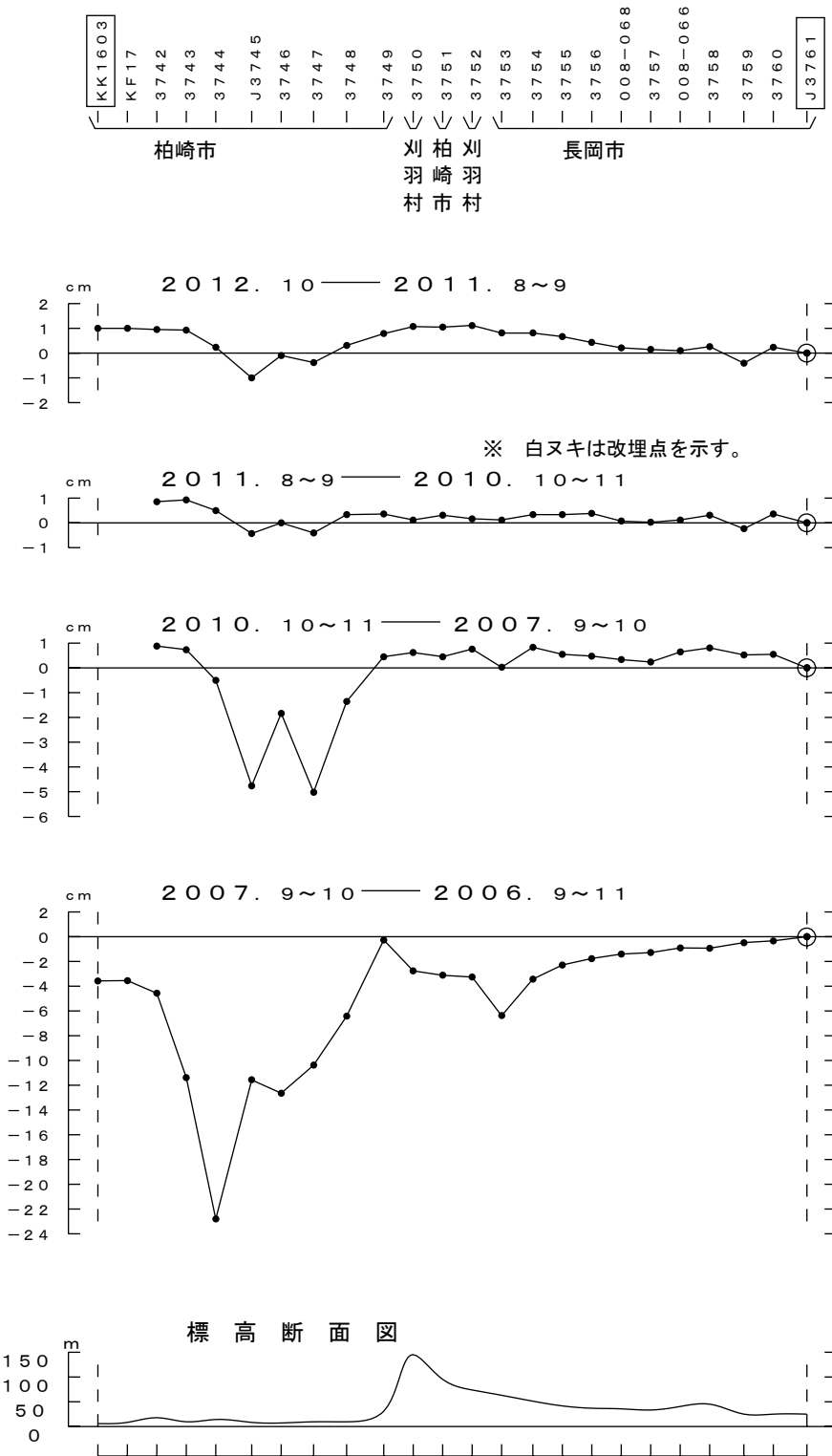
第2図は福井市周辺における水準測量結果である。顕著な変動は見られない。

#### [EDM 辺長 跡津川断層]

第3図は、富山県の有峰湖地区で行っている跡津川断層をはさんだ光波測距儀による約2年ごとの繰り返し辺長測量結果である。これまで、右横ずれの変動が継続して観測されていたが、最新の観測結果では、これまで短縮していた西岸－東岸基線がわずかな伸びを示している。原因は特定されていないが、その他の基線にはこれまでと異なる傾向が見られないことから、東岸測点の局所的な変動の可能性が考えられる。

# 柏崎市 ～ 長岡市間の上下変動

傾向の変化は見られない。

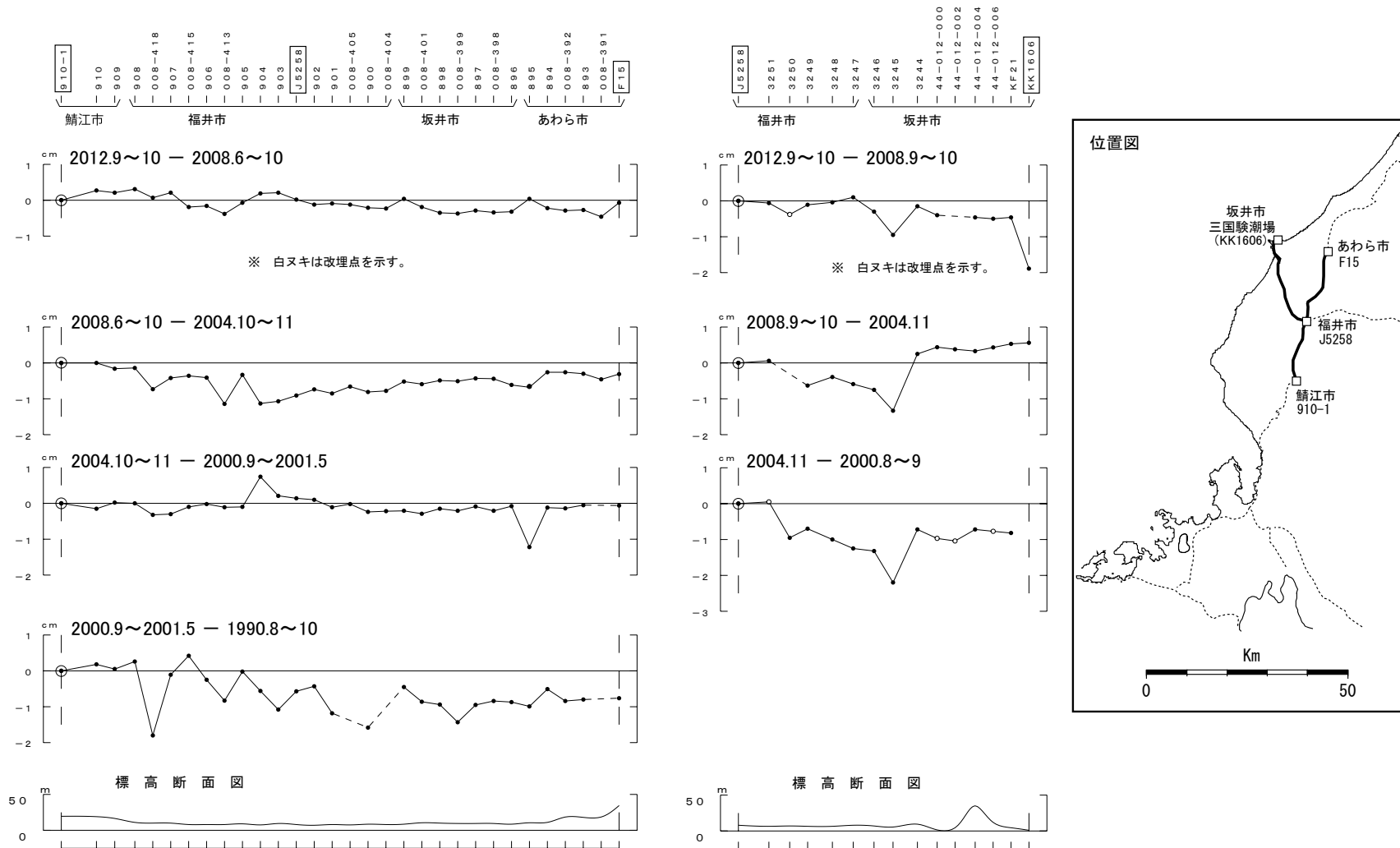


第1図 柏崎市～長岡市の上下変動

Fig. 1 Results of leveling survey from Kashiwazaki city to Nagaoka city.

## 鯖江市～あわら市間、福井市～坂井市間の上下変動

傾向の変化は見られない。



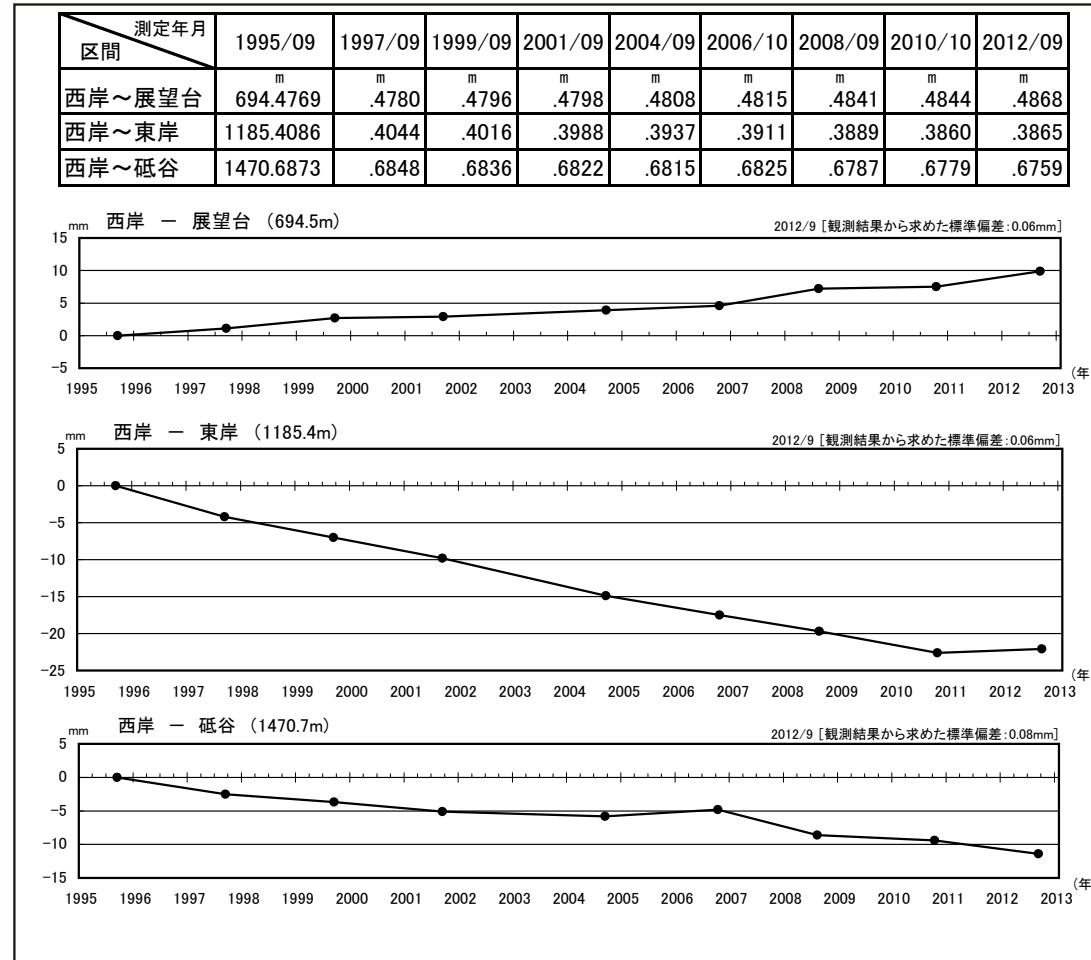
第2図 鯖江市～あわら市、福井市～坂井市の上下変動

Fig. 2 Results of leveling survey from Sabae city to Awara city, Fukui city to Sakai city.

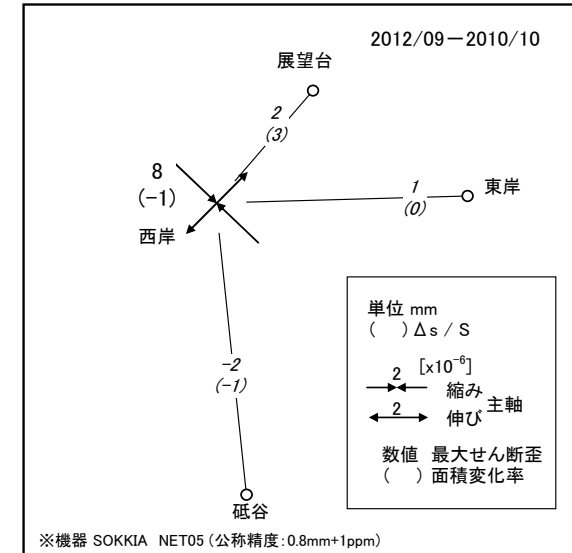
# 跡津川(有峰湖)地区 変動地形調査測量結果

傾向に顕著な変化は見られない。

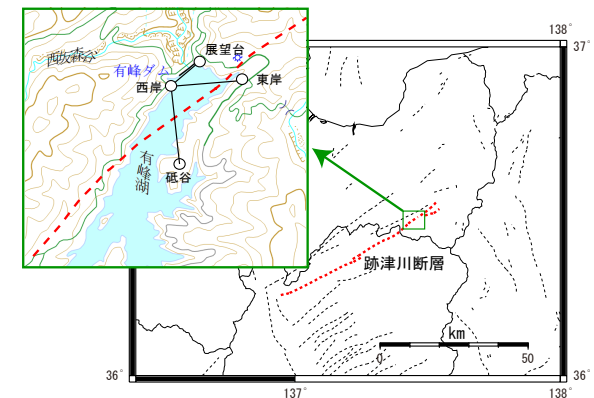
辺長の経年変化



水平歪・辺長変化



位置図



第3図 跡津川(有峰湖地区) 変動地形調査測量結果  
Fig. 3 Distances from EDM survey around Atotsugawa fault.